



写真：©Kaz Photography/FC Gifu

2016年J2リーグは大接戦の内に幕を閉じました。

終盤の10月の5試合で5連敗を期して、最下位に転落してしまい、残る11月の最終4試合を3勝しなければ、自力残留が難しいという窮地に陥り、皆様方には本当にご心配をお掛けしてしまいました。

ホームでは、10月までの18戦中で3勝しか出来ていない中でしたが、残る11月のホーム3試合毎試合1万人ファン、サポーターに応援頂く応援大作戦を展開しました。

お陰様で11月3日群馬戦を2対1で勝利し、11月6日横浜戦は2対0で5月15日以来の無失点で勝つことが出来、最下位の22位から20位に浮上しました。

しかし11月12日のアウェイでの熊本戦では0対1で敗北を期し、残留は最終戦のホームでの東京ヴェルディ戦までもつれ込みました。

11月20日のホーム最終戦、崖っぷちに立たされたFC岐阜でしたが、12,158名の皆様方の大応援団のお蔭で、4対2で勝利を収めることが出来、J2リーグの残留を自力で勝ち取ることが出来ました。

これは、熱烈なファン・サポーター、スポンサーの皆様方の熱い思いと願いが一つになって、大きな大きな声援と応援が素晴らしいエネルギーに変わって、選手、監督やコーチにも伝わり、土壇場での勝利に繋がったと確信しています。大変ハラハラドキドキの状況が続く中でしたが、最後の最後に残留に漕ぎ着けられたのは、大勢の

皆さんから応援いただいたお蔭と、監督・選手・スタッフ一同感謝しています。

また、監督、選手諸君も大変厳しい状況下、最大のプレッシャーを跳ね除けて、よくぞ戦い抜いて、FC岐阜のJ2の地位を守り抜いてくれました。年初の志からは大きくずれてしまいましたが、最終的にはチーム実力も結実力も上がってきました、応援の結束も太くなり、来シーズンに繋がるものと確信し、皆様様に今年1年の熱い応援に重ねて御礼申し上げます。

来年は、J2で10周年目と大きな節目であり、抜本的に強いチームにして、今後の大きな成長の土台を築き上げ、たくさんの感動を皆様にお届けできるようにしたいと決意しています。

また、より一層活発な地域貢献活動やバラエティに富んだホームタウン活動やイベントで楽しいスタジアムであるように、選手・スタッフ一同が頑張っていきます。

どうか、来年度も一層のご声援とご支援をお願い申し上げます。

